

令和7年度

第6学年 人権教育にかかわる年間指導計画

人権教育にかかわる年間指導計画作成のための方針

- 教師と児童の信頼関係を築き、一人一人のよさを認めることを重視した指導をする。
- 児童の望ましい人間関係の育成のために、道徳授業を中心に、道徳教育を学校の教育活動全体を通じて行い、各教科においては、児童がかかわり合う学習活動を行うようにし、ともに学び合うことの大切さを実感することができる指導を展開する。
- 教科等の学習や学校行事、日常の社会生活の中から人権課題について学ぶことができるようにする。
- 特別活動や総合的な学習の時間を中心に関連的な指導を図り、人権課題について学んでいく。

	4月	5月	6月	7月	8月(夏季休業)	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学 級	学級目標に人権教育のねらいを位置づける。		自分の大切さを認めることを中心とした指導。			他の人の大切さを認めることを中心にした指導。			互いの大切さを認めることを中心にした指導。				
経 営	児童相互の関係を把握する。		教師が児童のよい行いを朝の会、帰りの会で紹介する。			児童相互で友達のよい行いを話し合い、朝の会、帰りの会で紹介する。							
各教科 読書科	社会「わたしたちのくらしと日本国憲法」 基本的人権の尊重と国際社会におけるわが国の役割を理解		保健領域「薬物乱用防止教室」 薬物が心身に及ぼす害と社会に与える悪影響を知る。			社会「町人の文化と新しい学問」 江戸時代には、身分制度の下で生活が規制されていたり厳しい差別が行われていたりしたことを理解する。			社会「新しい日本・平和な日本へ」 差別に苦しめられてきた人々の身分上の解放、差別をなくす運動について理解する。				
	体育 運動会「組体操」 お互いの大切さを認め協力することの大切さを知る。		理科「生物と地球環境」 食物連鎖について知る。			体育 保健領域「病気の予防」 病気への偏見をなくし患者や感染者と共に生きていくこと、そうした社会を実現させることの大切さを知る。							
特別の教科 道徳	個性の伸長 自分の長所を知り伸ばそうとする。	生命尊重 生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。	寛容・謙虚 自分と異なる立場の人を理解し、相手の立場に立って考える。			自由と規律 自由を大切にし規律ある行動をしようとする。	感動と畏敬 自然がもつ人間の力を超えた摂理や力に感動し畏敬の念をもつ。		国際理解・親善と人類愛 外国の人々や文化を大切にし世界の人々と親善に努めようとする。				
特 別 活 動	進級期での指導児童相互のかかわりを大切にす		学級活動「6年生になって」 自分や学級の目標を考え、計画を立てる。										
	1年生を迎える会 協力して活動する。	縦割り班活動					どのようにすれば一人一人が楽しく活動することができるか考える。						
総合的な 学習の 時間	福祉「日本の福祉を考える」					環境 身の回りの環境について考えよう。					「ボランティア活動」 ボランティア活動を通して奉仕の精神を学ぶ。		
その他	《保護者会等》家庭からの連絡などから 児童一人一人の実態を把握する。					《保護者会等》人権週間に ついて説明し啓発を図る。					ユニセフ募金 世界の子どものことについて 関心をもつ。		